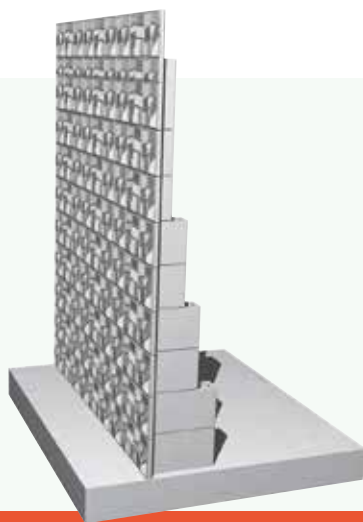




POINT

建設技術審査証明事業
(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)

建技審証 第0703号

一般財団法人土木研究センター
技術名称「ハイティーウォール」



▶ 擁壁

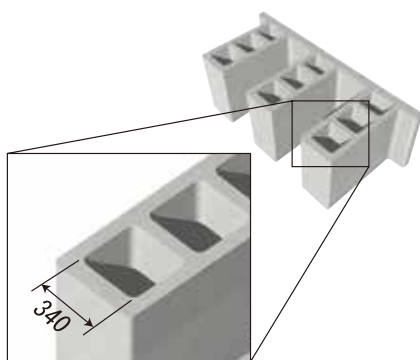
ハイティーウォール

掲載期間終了技術

● IJNETIS登録No.CB-080014-A

特徴及び適用範囲

- 現場打ち鉄筋コンクリート擁壁のたて壁部材をプレキャスト製品とし、現場打ち鉄筋コンクリート擁壁と同等の性能を有しながら、施工の効率化と品質の向上を達成した製品です。
- 製品の控え壁開口部を広く設け、鉄筋組立やコンクリート打設などの現場施工を容易にしています。
- 製品の前面に化粧を施し、景観性の向上を図れます。
- 土圧の分布状態に合わせて、製品の規格を選定できるために、経済的な設計が可能です。
- 擁壁高さの適用範囲は10mを標準としますが、それ以上となる場合はご相談ください。
- 天端製品の斜切加工、底版のプレキャスト化も可能です。
- 一般財団法人土木研究センターにおいて、構造性能、工期短縮、施工性、景観性について、審議・承認され、建設技術審査証明を取得（平成19年10月取得、平成29年10月内容変更・更新）した擁壁です。



控え壁開口部を広く設け、作業性を確保

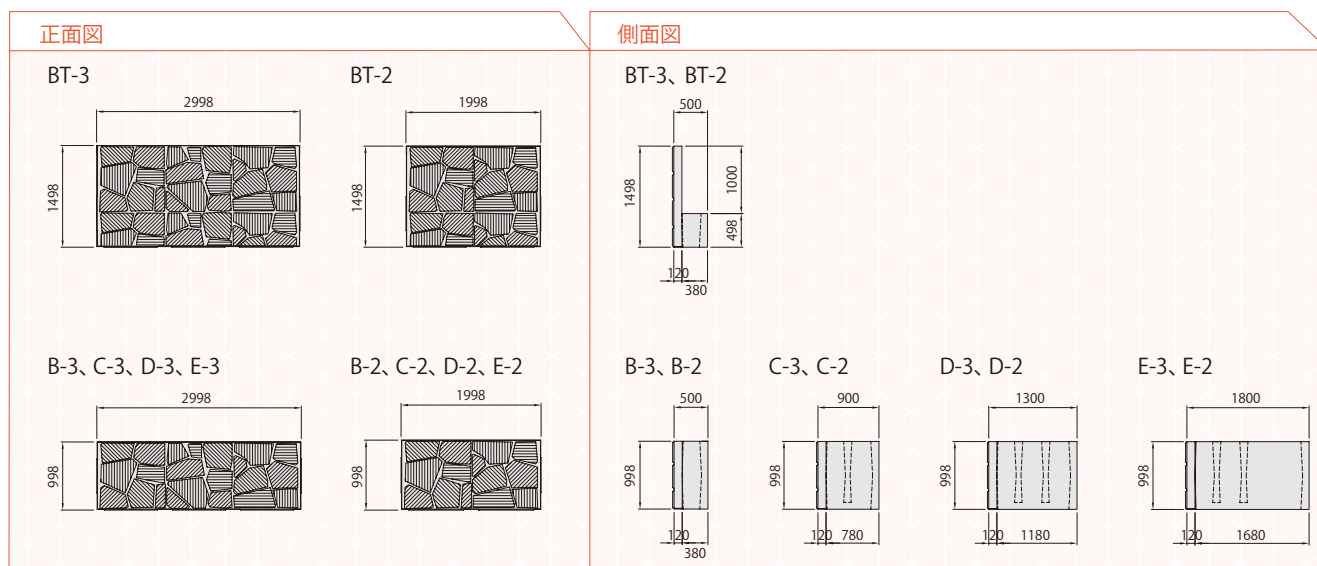


天端製品による斜切り対応

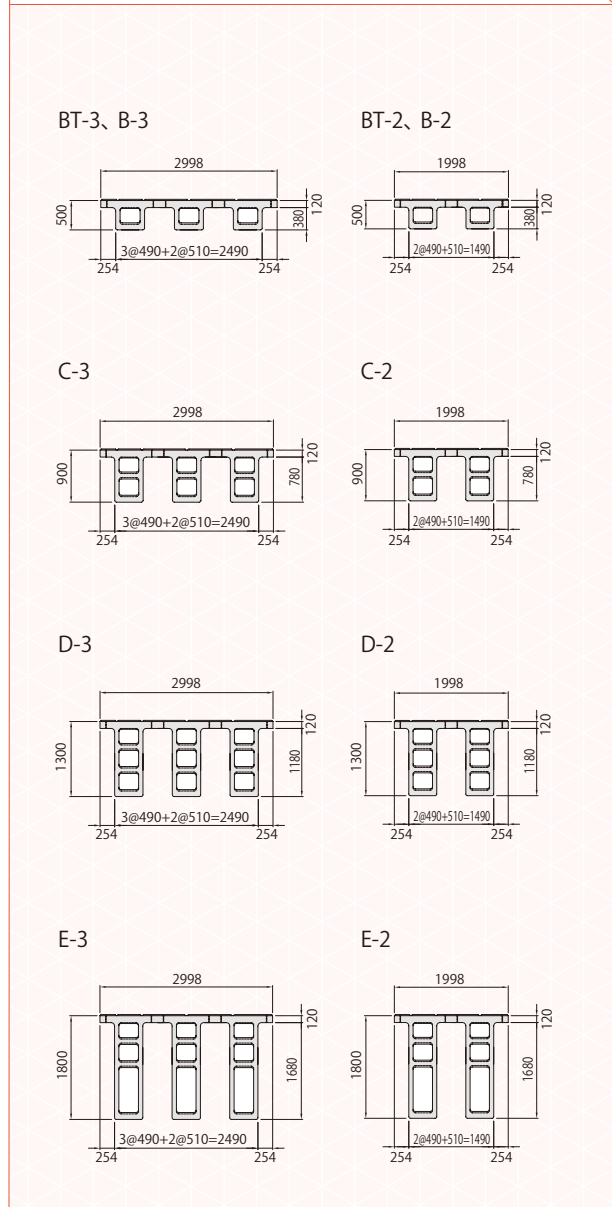
施工例



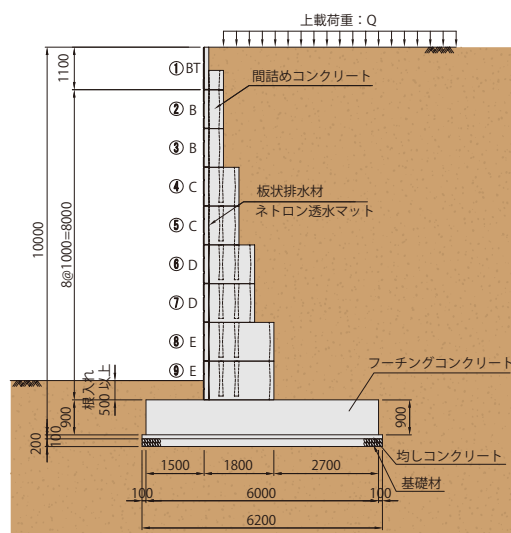
形状図



平面図



参考断面図 (H=10m)



タイプ	常時	地震時	単位
土のせん断抵抗角 ϕ	30.0	30.0	°
土の単位体積重量 γ_s	19.0	19.0	kN / m ³
粘着力 C	0.0	0.0	kN / m ²
上載荷重 Q	10.0	0.0	kN / m ²
設計水平震度 Kh	0.0	0.15	
底盤摩擦係数 μ	0.6	0.6	

参考質量表

タイプ	参考質量	タイプ	参考質量
標準タイプ	BT-3型 1,817kg	端部タイプ	BT-2型 1,211kg
	B-3型 1,683kg		B-2型 1,122kg
	C-3型 2,346kg		C-2型 1,564kg
	D-3型 3,009kg		D-2型 2,006kg
	E-3型 3,571kg		E-2型 2,381kg

施工例



宮城県



神奈川県



京都府



熊本県



長野県



長野県



岐阜県



栃木県

施工例



福島県



北海道



岩手県



大阪府



福島県



岩手県

用途例

ハイティールウォールは、PCa部材と現場打ち底版を自由に組み合わせることが可能なため、対応できる現場・用途が大きく広がります。
アンダーパスすり付け部や橋台取付部のU型擁壁や、擁壁背面にPCa板を取り付けることで隔壁として利用できるなど、アイデア次第で様々な用途にご利用いただけます。

■ U型擁壁外側盛り土(歩道付きアンダーパス)

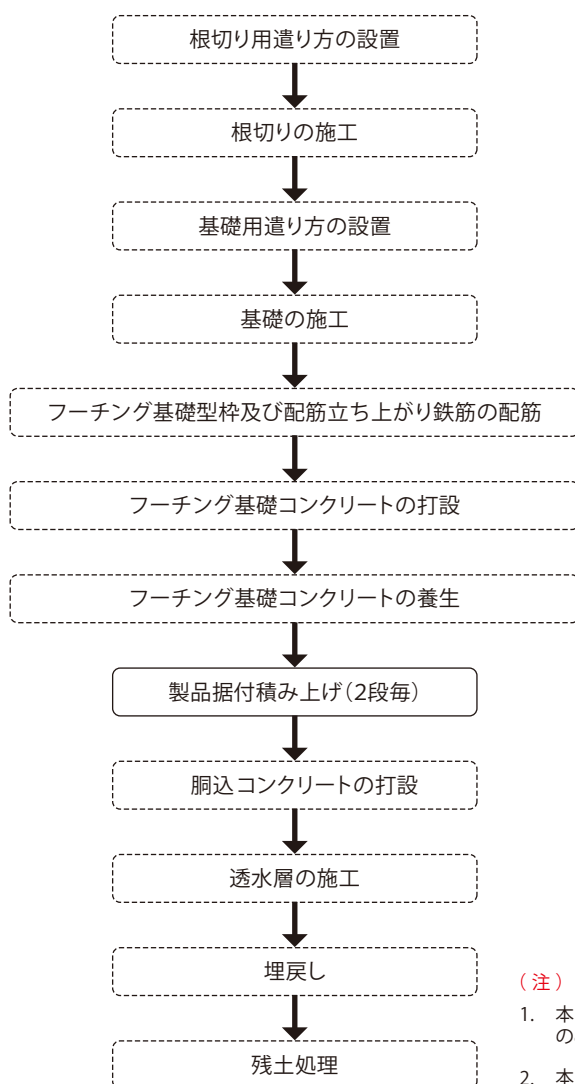


■ U型擁壁内側盛り土



施工ガイド

施工フロー



(注)

1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみです。
2. 本歩掛には、撤去は含まれておりません。

参考歩掛表

(15m²当り)

(10m²当り)

タイプ		BT-3	B-3	C-3	D-3	E-3	タイプ		BT-2	B-2	C-2	D-2	E-2
土木一般世話役	人	0.17	0.17	0.20	0.25	0.33	土木一般世話役	人	0.17	0.17	0.20	0.25	0.33
特殊作業員	人	0.33	0.33	0.40	0.50	0.67	特殊作業員	人	0.33	0.33	0.40	0.50	0.67
普通作業員	人	0.50	0.50	0.60	0.75	1.00	普通作業員	人	0.50	0.50	0.60	0.75	1.00
クレーン賃料	日	0.17	0.17	0.20	0.25	0.33	クレーン賃料	日	0.17	0.17	0.20	0.25	0.33
クレーン使用機種	吊	10.00	10.00	10.00	10.00	16.00	クレーン使用機種	吊	4.90	4.90	10.00	10.00	10.00
諸雑費	%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	諸雑費	%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

※諸雑費は労務費とクレーン賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

施工工程写真



1 床掘り



2 フーチング部筋組立



3 現場打ち底版打設、脱型



4 PCa 部材据付



5 胴込コンクリート打設

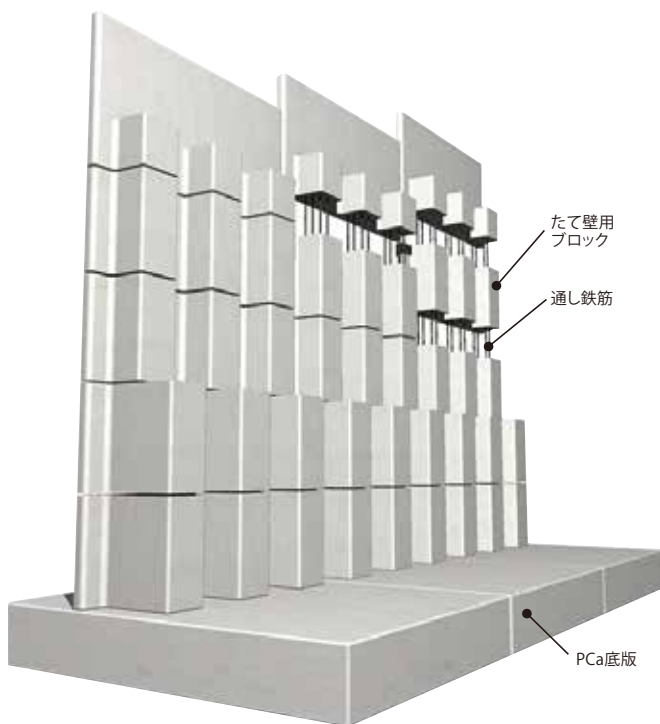


6 背面土埋め戻し

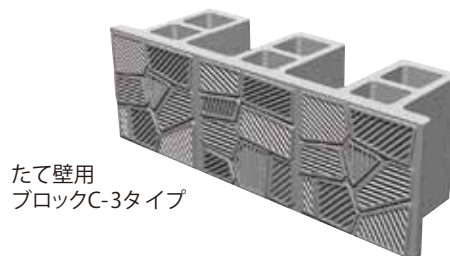
さらなる工期短縮へ！

ハイティールウォール(逆T型擁壁)

底版をプレキャスト化！



底版プレキャストタイプ
ハイティールウォール仮組み状態



これまで現場打ちコンクリートで構築することを標準としていた「ハイティールウォール」の底版部をプレキャスト化したタイプを開発しました。プレキャスト化により、現場打ちの底版で施工した場合と同等の性能を確保しながら、さらなる工期の短縮を可能にするとともに、冬季施工をはじめ現場の天候等による影響を最小限に抑えることができます。また、型枠工や配筋作業等を省略できるため、現場の省人化が可能です。

※プレキャスト底版を使用したハイティールウォールについては、建設技術審査証明の適用範囲外です。